



写真の関連記事は Activity 1 をご覧ください。

Activity 1 (株)ロッテ浦和工場見学

9月30日(月)、(株)ロッテの浦和工場見学を実施し、社員寮入居留学生5名が参加しました。ロッテ浦和工場は、『ガーナチョコレート』や『パイの実』、『コアラのマーチ』など、私たちになじみの深いお菓子を製造している、日本有数の生産規模を誇る工場です。今回は、『パイの実』を製造するラインを見学しました。工場の中を移動しながらガラス越しに見学するのですが、パイ生地を薄く



くのばし、64層に重ねて六角形に切り分けられます。その後50メートルはありそうな焼成炉を通りじっくり丁寧に焼き上げ、注射針を刺すような機械で六角形のパイ生地にチョコが充填されます。包装、箱詰めされて、段ボール単位で出荷用の荷姿になり、パレットに載せられ発送口へ移動します。ここまですべて自動で行われていて、機械のオペレーションを担当する作業員の方の数が少なかったのが印象に残りました。見学の最後には、ロッテのお菓子詰め合わせセットをおみやげにいただきました。

参加した留学生からは、「日本の大手菓子メーカーの生産現場を直接見る機会は貴重で、よく食べている『パイの実』が、実際に原料から製品となるまでのプロセスを知り、大変有意義な体験となりました」、「工場に入ると、まず、衛生管理の徹底ぶりに驚きました。日常、何気なく口にしているお菓子が、どれだけ厳しい基準のもとで作られているかを実感しました」、「驚いたのは、ほとんど従業員が見当たらず、ほぼ全自動化の製造ラインになっていたことです。商品に対する真面目さと食品会社の技術力、開発力がみられ、大変貴重な体験でした」、「もともと『コアラのマーチ』が大好きなのですが、この機会に『パイの実』も好きになりました」、「スタッフの皆様の丁寧なご説明や対応にも心から感謝いたします」といった感想が寄せられました。

Activity 2 SAP ジャパン(株)「河川敷クリーンアップ活動ボランティア」と OBOG 交流会

10月19日(土)、SAP ジャパン(株)と、認定 NPO 法人ハンズオン東京、NPO 法人荒川クリーンエイド・フォーラムが連携したボランティア活動「2024 ウォーターウェイ・クリーンアップ第2弾 東京会場」に、社員寮入居留学生と OBOG 9 名が参加しました。人口の多い地域を流れる荒川には多くのごみが流れつき、ここで回収しなければ太平洋に流出してしまいます。誰でも参加できる環境への貢献活動として、チームで協力しながらごみの種類や数量を確認し、留学生にとって、社会的な責任を考える機会となりました。

参加者からは、「自分の手でごみを取り除くことで、環境保護に一步を踏み入れ、自然環境の大切さを改めて感じました。参加者同士の交流も大きな収穫で、来年も引き続き皆と一緒に活動したいと思います」、「ごみ拾い活動の参加は今回2回目、普段は目につかないようなところにもごみがたくさんあり、想像以上の量に少し悲しかった。また、今回は注射針が多かったと感じて、このような危険物があり、皆さんの健康を守るため、ごみ拾いなどの活動が非常に重要だと思いました」、「SAP ジャパンの方々との交流を通じて、会社の CSR 方針と社員の方の生活を深く理解することができ



ました」、「短時間でしたが、漂着したごみを収集、分別、量を測定したところ、思っていたより大量でした。活動に参加したことにより、環境保全について自分の意識が高まったと思います。振り返れば、母国では町や川にごみが散乱している状態です。意識や教育不足、行政の指導の仕方等が原因だと思いますが、近い将来、いつか周囲の意識を変えられるように、日本での河川クリーンアップ活動を通じて環境保全について学び、母国で発信できればと思います」といった感想が寄せられました。河川敷クリーンアップ活動終了後は、レストランに移動して懇親会を開催し、社員寮入居留学生と OBOG の皆さんが交流するよい機会となりました。

Activity 3 卒業・修了記念交流会を開催

2月28日(金)、卒業・修了記念交流会をホテルグランドアーク半蔵門で開催し、2025年に卒業・修了予定の社員寮入居留学生12名と、横尾理事長、遠藤監事、協会職員が参加しました。名古屋・大阪からも留学生が参加し、社員寮での思い出や今後の進路、支援への感謝などが述べられ、和やかな交流会となりました。



Activity 4 第2回通常理事会を開催

3月13日(木)に2024年度第2回通常理事会が開催されました。「2025年度事業計画(案)」、「2025年度収支予算(案)」、「2025年度資金調達および設備投資の見込(案)」について審議され、原案どおり承認されました。



Activity 5 日本銀行本店・本所防災館見学

11月14日（木）、日本銀行本店の見学と本所防災館の防災体験を実施し、社員寮入居留学生4名が参加しました。



東京都中央区の本所防災館では、国の重要文化財に指定されている本館（地下金庫、旧営業場、展示室）を見学しました。

最初に、物価安定のための金融政策や、政府の銀行としての役割などを解説した映像を視聴しました。視聴後、当時使われていた地下金庫などを見学しました。そこでは、実際の1億円相当の重さを体験し、新しいお札のデザインや偽造防止技術などの説明を受けました。

留学生からは、「日本銀行見学では、多くの興味深いポイントがありました。特に、本館地下1階の地下金庫では、その

堅固な構造と高い安全性から、日本銀行の信頼性と歴史的役割を強く実感しました。また、本館地下の免振構造では、日本の建築技術の高さや災害対策への徹底した取り組みが印象的でした。本館2階の展示室では、古い紙幣や貨幣を通じて日本銀行の歴史や貨幣の発展について学ぶことができ、経済の進化をより深く理解しました。さらに、本館1階の旧営業場ではクラシックなデザインと当時の雰囲気そのままだとされており、日本銀行の伝統や歴史的価値を感じる貴重な体験となりました。」「創立140年経った今見ても、当時の技術の素晴らしさに感心します。加えて、本館全体の真下での耐震補強にも驚きました。余談ですが、1000万円模型は、思ったより小さくて、びっくりしました。」「地下金庫は、お金の重



さと日銀の日常的な作業をより深く認識しました」などの感想が寄せられました。



東京都墨田区の本所防災館では、都市型水害体験にて、水害で自動車が水没した際に、運転席の扉に水がどのくらい迫っているかを選ぶスイッチ

（10cm/20cm/30cm）を各自で押し、扉を外側へ押してその重さを体験、震度7の地震体験などに参加しました。

留学生からは「震度7を体験し、同じ姿勢すらともに維持できないことにもすごく驚きました。地震や水害をはじめ、防災については全然他人事ではなく、日ごろ注意を払わなければいけないと感じました。」「都市型水害体験では、洪水や浸水がどのように発生し影響を及ぼすのかを疑似体験することで、水害対策の具体的な行動を学ぶことができました。これらの体験を通じて、災害発生時に迅速かつ適切に行動するための知識と心構えが深まりました」という感想が寄せられました。



Activity 6 出張授業を実施

足立区立千寿青葉中学校、江戸川区立葛西第三中学校で出張授業を行いました。延べ10名の社員寮入居留学生が講師を務め、母国の紹介、日本と母国の違い、大学・大学院で研究している内容などを、スライドや動画を使って紹介しました。

講師の留学生からは「日本の中学生たちに、中国の中学校生活についてお話ししました。少し緊張していましたが、生徒たちの熱心な姿勢や好奇心旺盛な質問に触れることで、すぐにリラックスすることができました。感じたのは、生徒たちの真剣

たり、楽しそうに聞いてくれたりしたので、私自身も元気ももらいました。また、質疑応答の時間には、生徒たちと交流しながら、自分が知らなかったことを知ることができ、彼らからも多くを学びました。このような機会を作ってくださった皆さんに心から感謝しています。」「久しぶりに中学校の環境に戻り、元気いっぱいの子どもたちに出会うことができ、とても嬉しかったです。子どもたちの素朴な質問は特に印象深く、心に残りました」などの感想が寄せられました。



足立区立千寿青葉中学校

11月6日(水) 実施
2年生 4クラス

な態度です。そして、中国の学校ランニングについて話したときは、多くの生徒が興味を示してくれました。」「今回で3回目の講義でした。いつもあたたかく迎えてくださり、生徒たちもとても明るくて良い雰囲気を作ってくれます。何よりも、未来が期待できる素晴らしい生徒さんだったので、いつか社会でよく成長した生徒達と巡り会うことを心から期待しています。」「生徒たちがとても元気で、自分の話に積極的に反応してくれ



江戸川区立葛西第三中学校

11月26日(火) 実施
1年生 6クラス

Activity 7 生活・退寮セミナーを開催

社員寮に入居間もない留学生を対象に生活セミナーを開催し、協会の紹介、社員寮生活の心得や注意点、今年度の社員寮入居留学生向けプログラムについて説明しました。また、卒業・修了などで社員寮を退寮する留学生を対象とした退寮セミナーを開催し、合計16名の留学生が参加しました。